



清 泉

令和 6 年 9 月 1 9 日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1
電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

🌧️ 9月に想う

9月1日は、関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあります。昭和 34（1959）年 9 月 26 日の「伊勢湾台風」では、戦後最大の被害（全半壊・流失家屋 15 万 3,893 戸、浸水家屋 36 万 3,611 戸、死者 4,700 人、行方不明 401 人、傷者 3 万 8,917 人）となりました。このようなことから、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、昭和 35 年（1960）年に、9 月 1 日を「防災の日」として閣議決定された。

今年は、2 学期始業式の 8 月 30 日（金）に引き渡し訓練を行いました。保護者のみなさま、ご協力ありがとうございました。また、その様子を地域のみなさまにも見ていただけたのではないのでしょうか。

この日は大型の台風 10 号の影響を昭島も受け、その日の未明まで強い雨が降り続き、多摩川流域の状況が気になる中での始業式でした。「訓練」は「訓練」としてではなく、常に現実と向き合うものなのだと思えました。

先日、清泉中学校避難所運営委員会がありました。この会是有事の際に、市行政と地域・学校が連携し避難所を運営していく組織です。今回、委員会では、もう一度「何がどこにあるか」「機材をどう動かすのか」「どのような手順で行うか」など、まず委員が理解し他者に伝えられるようにしようと協議されました。「備えあれば……」。物品を備えるだけでは機能しないかもしれません。基礎的な知識を訓練（経験）で活かすことで本当の備えとなるのかもしれません。その場でもう 1 つ、「中学生の力が地域にとって必要だ」ということが話題となりました。

☆ここで、令和 6 年度全国学力学習状況の生徒（3 年生対象）の意識調査を 1 つ紹介します。

Q：地域や社会をよくするために

何かしてみたい

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」
清泉中（77.8%）
東京都（72.8%）
全 国（76.1%）

Q：自分にはよいところがある

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」
清泉中（88.1%）
東京都（83.4%）
全 国（83.3%）

その他、『人が困っているときは進んで助けるか』や『人の役に立つ人間になりたい』への回答は『当てはまる』の数値を見ると都や全国を大きく上回っていました。



🌱 知る 🧑🧒 考える 📖 行動する！ 🦋

今年の夏休みに全校生徒に課題を出しました。

それは「私の SDGs 行動宣言」です。保護者のみなさまにもご協力いただいたことを生徒から聞き、うれしかったです。

2030 年までの 17 の目標（GOALS）。あと 5 年とちょっと。しかし本校の生徒の宣言（考え）を読んでいると「達成できる！」と思いました。生徒たちの純粋な思いや考え・行動がとても価値あるものです。2 年生は持続可能な社会をつくるための学びのきっかけとしてさまざまな事業所で職場体験を行い、感じたことを自己の価値観や行動の変化につなげました。3 年生は、「地球環境京都宣言」を示した地での修学旅行にて、個人で宣言した取組に関わる現状を確認しながら自己の考えを深めることでしょう。1 年生は多摩地区フィールドワークのテーマ「自然を感じる Enjoy！多摩ドストライク～昭島へ愛を～」のもと、全員でゴミ等を回収する活動を通じ、より一層、社会の一員である自己を認識し「環境」という切り口から持続可能な社会づくりに向けての行動を行ってください。ぜひ、ご家庭でも話題にしていきたいと思います。私たち大人も生徒とともに取り組み、輝く未来をつかみとりましょう。

学校公開にご来校いただきありがとうございました。

多くのみなさまにご参観いただき、また、生徒・教職員ともども励みになるお声をいただきました。アンケートでは、さらによくなるための改善点（公開授業の時間割の組み方等）や気になることなどお寄せいただきました。今後の教育活動に反映していきます。【当日の参加者数】
地域（7 名）／保護者 1 年（103 名）
2 年（75 名）、3 年（63 名）、7 組（13 名）